

【道路建設課所管 事後評価審議資料】

○道路改築事業【（国）256号（濃飛横断自動車道）


金山下呂道路・和良金山道路】

- ・平成29年度事後評価箇所表 . . . p 1～2
- ・説明資料（パワーポイント） . . . p 3～12

平成29年度 事後評価箇所表

番 号	2	事 業 名 (路線名等)	道路改築事業 国道256号 濃飛横断自動車道 金山下呂道路・和良金山道路		
事業実施箇所	ぐじょうしわらちようほうす～げろしほいど 郡上市和良町方須～下呂市保井戸		全体事業費 (当初事業費)	319億円 (277億円)	
採択年度	平成9年度	完了年度	平成27年度		
事業目的	<p>濃飛横断自動車道は、岐阜県郡上市を起点とし、下呂市を經由して岐阜県中津川市に至る延長80kmの地域高規格道路である。本事業はこのうちの8.1km区間を整備したものであり、県土1700km骨格幹線ネットワーク構想の推進、地域間の観光交流や産業振興の推進、災害時に有効に機能するネットワークの確保を目的としている。</p>				
事業概要	<p>事業延長：8.1km 車道幅員：3.25m×2車線 主要構造物：ささゆりトンネル L=4,877m、和良金山トンネル L=1,830m 乙原大橋 L=194m、方須大橋 L=80m</p>				
概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">標準横断面図</div> </div>				

評価結果	
① 事業の効果	
<p>○郡上八幡と下呂温泉間のアクセス性向上、観光客数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡上八幡と下呂温泉間において、国道41号を通行する整備前のルートと比べると、移動距離が18km、所要時間が25分短縮され、アクセス性が向上。 ・郡上八幡と下呂温泉間のアクセス性の向上は、郡上八幡や下呂温泉、沿線の道の駅の観光客数増加の一助となった。 ・本道路を通行した観光客は、所要時間短縮効果や走行快適性などを実感。 <p>○道路利用者が時間短縮効果を実感</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運送事業者は、下呂市中心部から金山町東地区や和良地区への配達の際に時間短縮効果を実感。 <p>○地域住民への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備に対する満足度、地域にとっての有益性の各項目とも、8割以上が効果を実感。 ・特に「日常生活での移動利便性の向上」の満足度が高い。 <p>○費用対効果分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/Cは1.0であり、一定の効果が見込まれる。 	
② 住民参加・協働による取り組み	
<p>○トンネル名称を地元公募により決定したほか、供用前にウォーキング会を開催し、地域住民に対して事業の理解と愛着の醸成を図った。</p>	
③ 環境面への配慮	
<p>○環境省絶滅危惧ⅠB類および岐阜県絶滅危惧Ⅰ類に指定されているクラガリシダを移植。その後、モニタリング調査を実施して活着を確認。</p>	
④ 応方針(案)	
<p>○今後の事業評価の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。 <p>○改善措置の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では必要無し。 <p>○新規事業へ適用すべき留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重種等、必要な環境調査を行い、環境に配慮した事業の実施を推進していく。 	

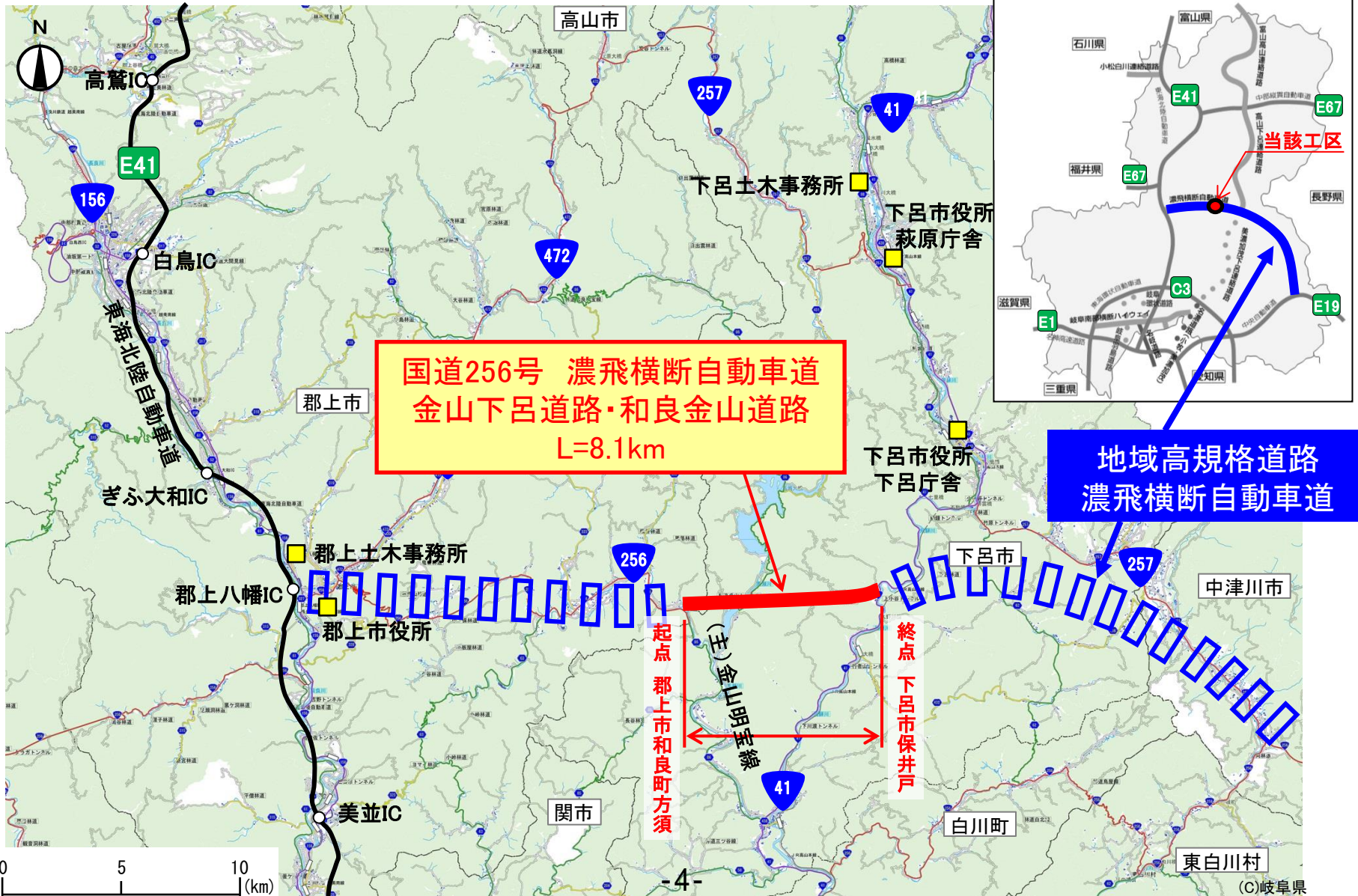


事後評価
道路改築事業

国道256号(濃飛横断自動車道)
金山下呂道路・和良金山道路

県土整備部 道路建設課
平成30年1月

位置図



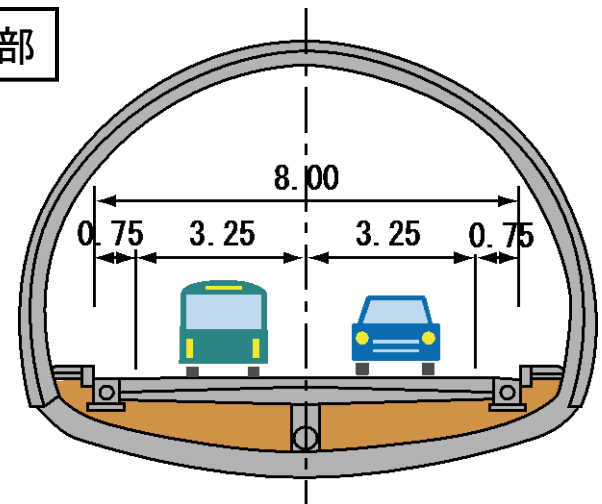
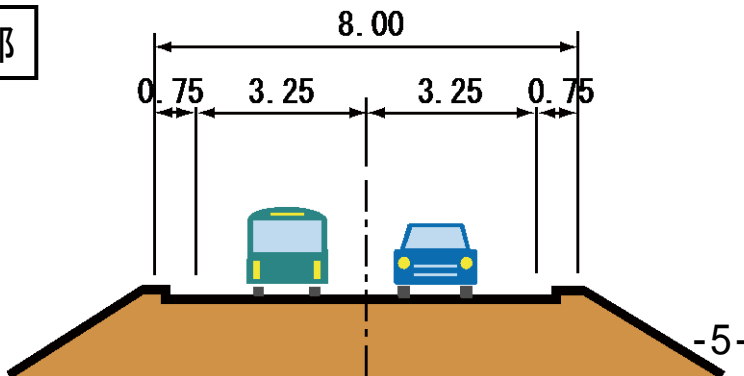
事業概要

- 起終点 : ぐじょうし わらちようほうす げろしほいど 郡上市和良町方須～下呂市保井戸
- 全体延長 : 8.1km
- 総事業費 : 319億円
- 事業着手 : 平成 9年度
- 完 成 : 平成27年度(金山下呂道路供用開始:平成24年7月24日)
(和良金山道路供用開始:平成28年3月25日)
- 幅 員 : 車道 3.25m×2車線
- 道路規格 : 第3種第2級

標準横断図

トンネル部

土工部

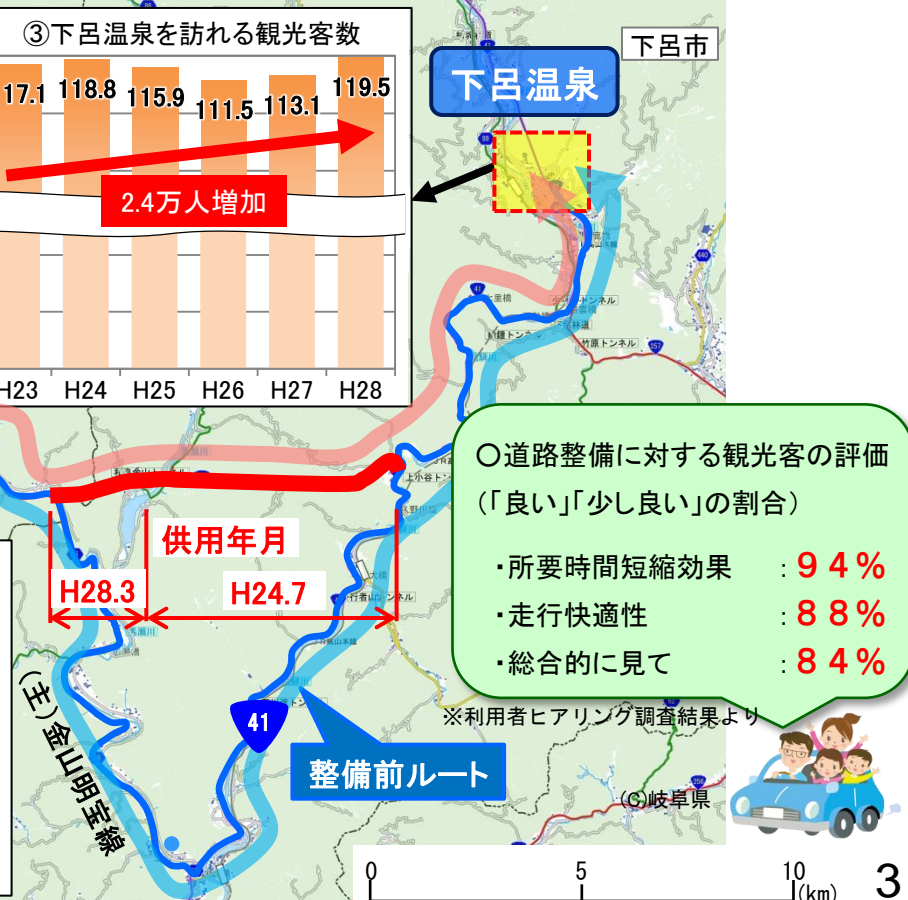
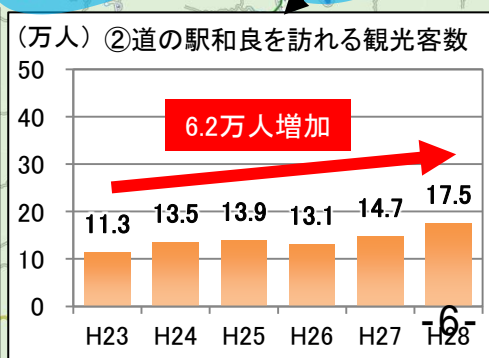
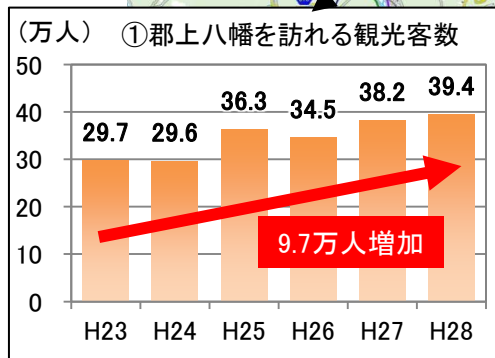
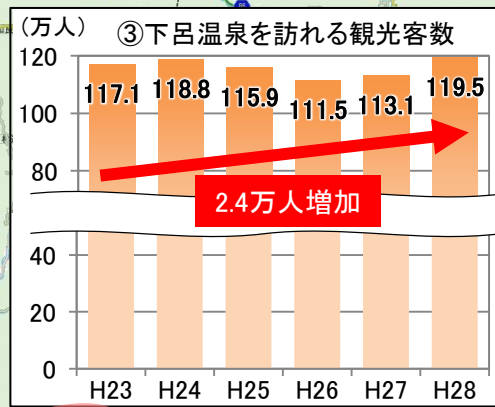


事業の効果①

郡上八幡、下呂温泉間のアクセス向上、観光客数の増加

- 郡上八幡、下呂温泉間の移動距離が18km、所要時間が25分短縮
- 郡上八幡や下呂温泉、ルート沿にある道の駅の観光客数は増加
- 観光客は、整備後の時間短縮効果や快適性を実感

	距離	所要時間
整備後	44 km	50分
整備前	62 km	75分
	18 km短縮	25分短縮

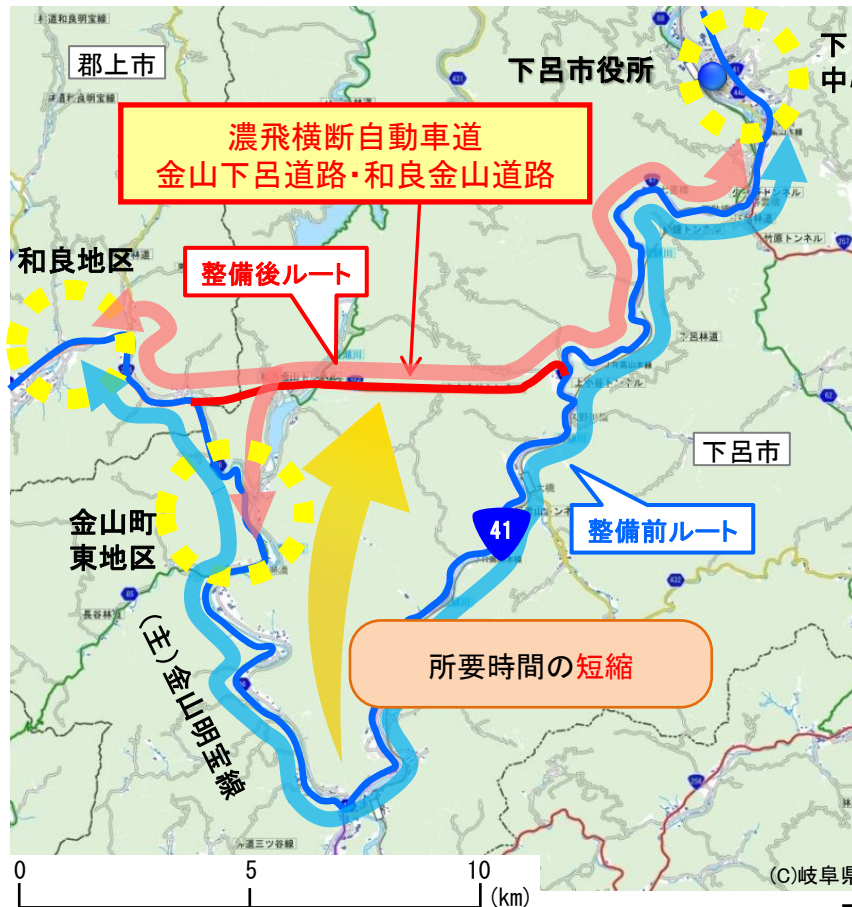


- 道路整備に対する観光客の評価
(「良い」「少し良い」の割合)
- ・ 所要時間短縮効果 : 94%
 - ・ 走行快適性 : 88%
 - ・ 総合的に見て : 84%

事業の効果②

道路利用者が時間短縮効果を実感（ヒアリング調査より）

■ 運送事業者は、下呂市中心部から金山・和良方面への配達の際の時間短縮効果を実感



- 下呂市中心部から金山町東地区や和良地区への移動を、国道41号から濃飛横断自動車道に変更したことにより、所要時間が**短縮**されました。
- 配達時間の短縮に伴い、帰店時間が早くなったことで勤務時間が短縮されました。

※下呂市の運送事業者ヒアリング調査結果より

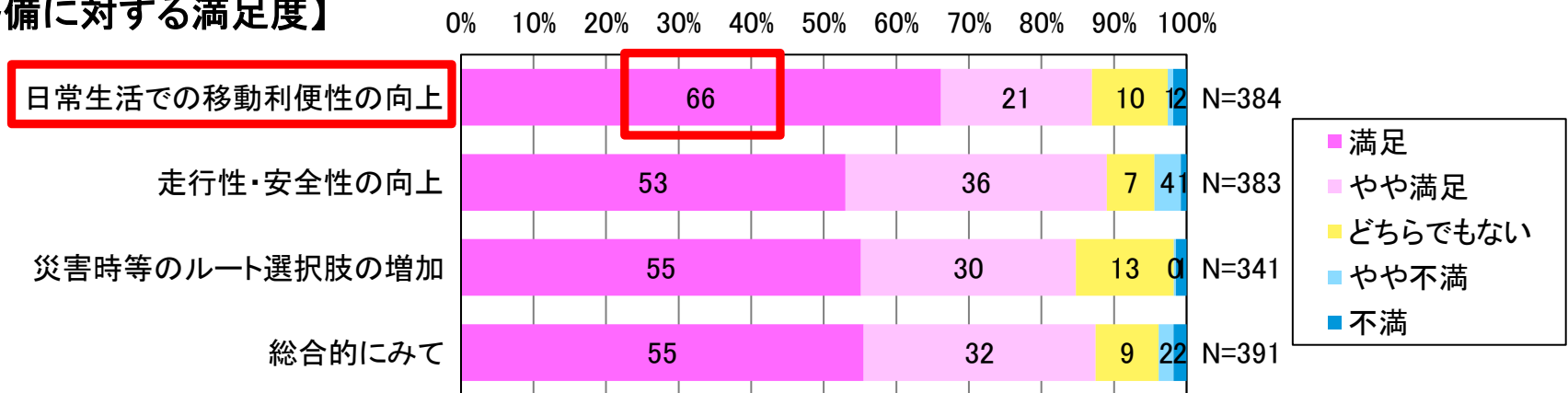


地域住民への効果

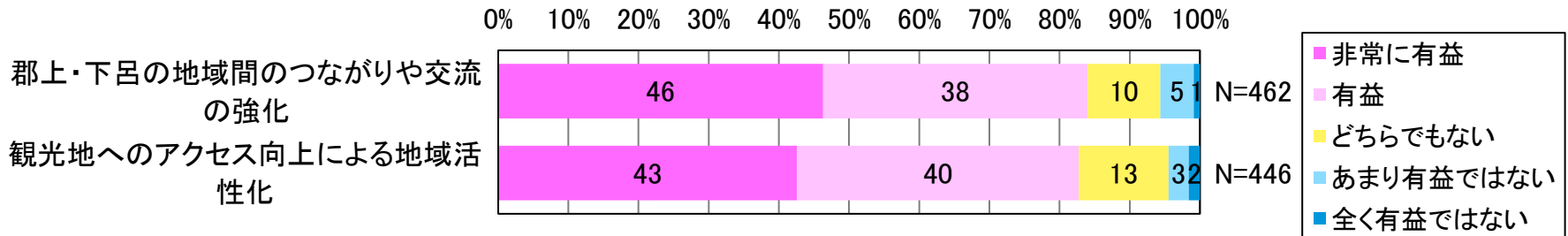
アンケート調査結果

- 整備に対する満足度、地域にとっての有益性の各項目とも8割以上が効果を感じている
- 特に「日常生活での移動利便性の向上」は満足度が高い

【整備に対する満足度】



【地域にとっての有益性】



費用対効果分析

事業の効果

- 走行時間短縮便益 …… 効果全体の約 83%
- 走行経費減少便益 …… 効果全体の約 11%
- 交通事故減少便益 …… 効果全体の約 6%

投資的效果率

$$\frac{\text{総便益 (B)}}{\text{総費用 (C)}} = 1.0 \text{ (全体)}$$

※費用便益分析マニュアル（国土交通省H20.11）に基づき算出

【参考】 その他の事業効果

第2次緊急輸送道路に指定（H25.3金山下呂道路、H29.8和良金山道路）

住民の参加・協働による効果

住民の参加・協働による効果

- トンネルの名称を住民から募ることによる愛着の醸成
- 地域住民の事業に対する理解・愛着を持って頂くため、ウォーキング会を開催

■ 地域住民に供用区間のトンネル名称募集

■ 開通前のウォーキング会の開催

**濃飛横断自動車道
金山下呂間のトンネルの
名称を募集します！**

保井戸～金山町乙原間のトンネルが平成24年「ぎふ清流国体」開催にあわせて暫定供用開始されます。このトンネルの名称を公募しますので、奮ってご応募ください。(トンネル長 4,877 m・車道幅 8 m)

応募期間 4月1日～5月31日(当日消印有効)

応募方法 任意の用紙にトンネル名・住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、応募先へ持参、郵送、ファクスしてください。
(1人何点でも応募可)

賞 最優秀賞1点、優秀賞5点
(開通式で表彰状と記念品を贈呈)

応募先 〒509-2595 下呂市萩原町萩原 1856
下呂市役所土木課「トンネルの名前募集係」
☎52-2000(内線214) FAX 52-3676



■ ウォーキング会の様子

広報を通じて、関心を持ってもらい、愛着を生む取り組みとして実施

地域住民に対し、事業への理解と協力を得るために実施

環境面への配慮

絶滅危惧種の移植

- 岐阜県環境影響評価条例に基づき環境影響評価を実施
- 例えば、絶滅危惧 I B類および岐阜県絶滅危惧 I 類に指定されているクラガリシダの移植など
- その後、モニタリング調査を実施して活着を確認

移植直後の状況



移植3年後の状況



モニタリング調査にて活着を確認

対応方針(案)

◆今後の事後評価の必要性の有無

- 観光拠点の観光客数の増加など、事業効果を確認
- 地域住民へのアンケートでも、8割以上の回答者が、総合的にみて「満足（非常に有益）」あるいは「やや満足（有益）」と回答
→今の段階では、今後の事後評価は必要なし

◆改善措置の必要性

- 供用後、大きな事故などは発生しておらず、現段階では改善措置の必要はない。
→今の段階では、改善措置の必要なし

◆新規事業への適用すべき留意点

- 貴重種など、必要な環境調査を行い、環境に配慮した事業の実施を推進していく。